

第1号議案
【別紙】

2022年度 事業報告書
(2022年4月1日～2023年3月31日)

公益財団法人アサヒグループ財団
(旧：公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団)

定款第8条に基づき、当年度の事業の内容につきまして下記のとおりご報告いたします。

なお、本議案は、吸収合併に伴い法律上の存続法人となりました（旧）公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団に関するものであります。

I. 事業の概況

芸術文化活動に対して助成支援並びに、アサヒビール大山崎山荘美術館の運営の文化事業を行った。

助成にあたっては、前年まで実施していた公募型助成の公募を休止し、前年からの延期企画に対する助成のみ実施した。

また、芸術文化資産を活かしながら芸術文化創造の支援をするため、アサヒビール大山崎山荘美術館の運営等の文化事業を行った。

1. 芸術文化活動助成部門

事業の総括

1) 公募型助成について

2021年度まで実施していた公募型助成については、事業の安定的な継続を鑑み休止とした。

なお、公益財団法人アサヒグループ学術振興財団との合併をもって、文化及び芸術の振興を目的とする公募型助成の廃止を決定した。

助成企画については、2020年度助成企画のうち、コロナ禍の影響により延期となっていた企画2件が2022年度中に開催された。2022年4月に「京都版画トリエンナーレ」が開催され、2023年1月に米国でのパフォーマンスを記録した「立ちたさ」展が人形町のアトリエで開催され、計1百万円の助成を実施した。

2) 助成の実施について

伝統工芸の技術の保存と活用、伝統文化向上に寄与する目的で開催されている公益社団法人日本工芸会の活動に対して500千円の助成を行った。

第69回日本伝統工芸展 東京会場開催（2022年9月14日～9月26日まで）、並びに同会東日本支部が開催する「第62回東日本伝統工芸展」を中心とする公益目的事業の活動費として、支援金を活用している。

2. 美術館運営部門

「事業の趣旨」

当財団は、1996年からアサヒビール社より、「アサヒビール大山崎山荘美術館」の運営を委託されており、これに伴い、美術館運営事業を行っている。なお、2022年より同館は、アサヒグループジャパン社の所有となっている。

所蔵品・建物・自然環境という大山崎山荘美術館ならではの資源を活かし、広く芸術文化の拠点として、情報発信に努めている。

「事業の総括」

コロナ後に向けて社会環境が変化する中、引き続き、来館者・美術館スタッフの安心・安全を最優先にした運営を実施した。

企画展(3展)を計画通り実施した。

【企画展について】

時期	企画展の名称
2022/3/19～2022/7/3	コレクション 春 ―所蔵作品による名品展
2022/9/17～2022/12/25	こわくて、たのしいスイスの絵本展
2023/1/21～2023/5/7	没後40年 黒田辰秋展 ― 山本爲三郎コレクションより

アンケート集計結果（満足度）、来館者数は以下の通り。満足度は5段階評価の「とても良い」「良い」を合算した数値。

	春展	絵本展	黒田展
来館者数(人)	19,127	25,686	20,500
目標来館者数(人)	23,700	26,800	18,700
進捗率	80.7%	95.8%	109.6%
回答率	1.8%	6.3%	5.6%
企画展・作品	94.6%	98.4%	94.6%
建物・施設	98.6%	99.5%	98.8%
庭園	99.2%	98.4%	96.7%
スタッフの対応	90.1%	88.7%	86.6%
全体の満足度	98.4%	97.2%	96.1%

◆「コレクション 春 ―所蔵作品による名品展」

期間 2022年3月19日(土)～2022年7月3日(日)

本展では、およそ1000件の所蔵品から選出した、多彩な作家たちとその作品を紹介した。地中館では、モネ《睡蓮》をはじめ、ポール・シニャック《ヴェネツィア》など水の情景を特集した。山手館では、ワシリー・カンディンスキー、パウル・クレーをはじめ印象派以降の主要な芸術運動に関わった作家を紹介した。

本館では、生誕135年のバーナード・リーチと同じく120年のルーシー・リー、英国陶芸を代表する二人の作品をその関係性からひも解いた。

所蔵品のための展覧会となったこともあり、来館者数は目標(23,700人)に大きく下回る結果になったが(19,127人)、当館の雰囲気合った優れた企画内容となった。

◆「こわくて、たのしいスイスの絵本展」

期間 2022年9月17日(土)～2022年12月25日(日)

本展では、3人のスイス作家(エルンスト・クライドルフ、ハンス・フィッシャー、フェリックス・ホフマン)に焦点を当て、その作品や資料を展示した。彼らが手がけた絵本や挿絵には、楽しそうに見えていてもじつはこわい場面や、こわそうに見えていても楽しい場面が描かれており、来館されたお客様にも、作品の魅力を堪能して頂いた。企画展内容と相まって、幅広い年代層のお客様に来館頂き、展示室の中では親子3世代で絵本を鑑賞する姿や、絵本を懐かしむ光景が多くみられた心温まる企画展となった。

会期中には文化庁との共同主催で子供向けワークショップ「蓮沼昌宏ワークショップ「大山崎山荘の小さな絵本づくり」and DOMANI@京都」を開催した。小学生のお子さんたちが、美術館を探検し、小さなモチーフや話しの種を探しだし、ひとりひとりの絵本原画を制作・発表する企画とし、完成した絵本はレストハウスで閲覧可能とした。

また12月24日、25日には、館内で3年ぶりのクリスマスコンサートを開催し、2日間で100名を超えるお客様に参加頂いた。

来館者数は当初計画(26,800人)に対して、25,686人であった。

◆「没後 40 年 黒田辰秋展 ― 山本爲三郎コレクションより」

期間 2023 年 1 月 21 日(土)～2023 年 5 月 7 日(日)

本展では黒田辰秋のゆるぎない基礎が確立した 20 代前半の凝縮された時期に焦点を当てた。山本家から当館に寄贈され、開館以来当館所蔵品の軸となっている三國莊ゆかりの山本爲三郎コレクションを中心に所蔵品を一挙に公開し、黎明期からその後の展開にも触れながら 名匠黒田辰秋の創作の原点に迫った。

1 月 27 日(金)には、作家森見登美彦氏と学芸員との座談会「森見登美彦先生と語る 京都の青春、上加茂民藝協団」開催した。100 人を超えるお客様に参加して頂いた。

3. 2022年度 主な事業活動

2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)

年	月	日	項目	摘要
2022			大山崎山荘美術館 春企画展	コレクション 春 ―所蔵作品による名品展 (～7/3)
	6	6	第1回理事会	・2021年度事業報告他
	6	16	定時評議員会	・2021年度事業報告の報告他
	6	16	第2回理事会	・代表理事、業務執行理事の選定の件
	9	17	大山崎山荘美術館 秋企画展	「こわくて、たのしいスイスの絵本展」 (～12月25日)
2023	1	21	大山崎山荘美術館 冬企画展	「没後40年 黒田辰秋展-山本爲三郎コレクションより」 (～2023年5月7日)
	3	13	第3回理事会	2023年度事業計画他
	3	29	第4回理事会	事務局長選定の件

II. 処務の概要

1. 役員等に関する事項

理事の異動

2022年6月16日 重任 加賀美 昇 退任 岡部 真一郎
 重任 大西 隆宏
 重任 竹内 順一
 重任 尾崎 正明
 重任 木下 直之
 重任 建畠 哲

同日付で、代表理事に加賀美昇、業務執行理事に大西隆宏が選定された。

就任時期を、公益財団法人アサヒグループ学術振興財団との合併効力発生日とする

2023年4月1日

選任 清水 誠
 選任 植松 光夫
 選任 佐藤 隆一郎
 選任 伏木 亨

評議員の異動

2022年6月16日 選任 根来 智之 辞任 谷村 圭造

就任時期を、公益財団法人アサヒグループ学術振興財団との合併効力発生日とする

2023年4月1日

選任 原島 俊
 選任 石井 克枝
 選任 清水 二郎

2022年度末の現職役員、評議員及び選考委員は次の通り

役職名	氏名	担当職務	主な職業
代表理事	加賀美 昇	本法人代表	アサヒグループジャパン(株)顧問
業務執行理事	大西 隆宏	業務全般	財団常勤
理事	竹内 順一		東京藝術大学名誉教授
同	尾崎 正明		茨城県近代美術館館長
同	木下 直之		静岡県立美術館館長
同	建島 哲		埼玉県立近代美術館館長・美術評論家
監事	松田 隆次		弁護士
同	飯塚 昇		公認会計士
評議員	奥 正之		(株)三井住友フィナンシャルグループ名誉顧問
同	村上 仁志		三井住友信託銀行(株)名誉顧問
同	高嶋 達佳		(株)電通相談役
同	根津 公一		根津美術館館長
同	大林 剛郎		(株)大林組会長
同	根来 智之		アサヒグループジャパン(株)執行役員
同	野村 和彦		アサヒ飲料(株)取締役

2. 職員に関する事項

山本 和央 2023年4月1日 事務局長辞任
 崎田 淳也 2023年4月1日 事務局長就任

3. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開会年月日	議事々項	会議の結果
2022-06-06	第1回理事会 ・ 2021年度事業報告、計算書類等承認の件 ・ 公益目的事業の変更認定申請に関する件 ・ 定款の一部変更案の承認の件 ・ 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の一部変更案の承認の件 ・ 任期満了に伴う理事候補者の承認の件 ・ 合併に伴う理事候補者の承認の件 ・ 辞任に伴う評議員候補者の承認の件 ・ 合併に伴う評議員候補者の承認の件 ・ 定時評議員会の招集の件	原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認
2022-06-16	第2回理事会 ・ 代表理事、業務執行理事の選定の件	原案通り承認
2023-03-13	第3回理事会 ・ 2023年度事業計画書及び収支予算書等承認の件 ・ 学術研究助成規程制定の件 ・ 法人印管理規程の一部改定の件 ・ 財団名称変更に伴う諸規定内の財団名称変更の件	原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認
2023-03-29	第4回理事会 ・ 事務局長選定の件	原案通り承認

(2) 評議員会

開会年月日	議事々項	会議の結果
2022-06-16	定時評議員会 ・ 2021年度事業報告の報告、計算書類等承認の件 ・ 吸収合併契約締結承認に関する件 ・ 定款の一部変更に関する件 ・ 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程改訂の件 ・ 任期満了に伴う理事選任の件 ・ 合併に伴う理事承認の件 ・ 辞任に伴う評議員選任の件 ・ 合併に伴う評議員選任の件	原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認

4. 許可、認可及び承認に関する事項

- ・ 2022年7月26日 公益財団法人アサヒグループ学術振興財団の吸収合併による公益目的事業の変更に係る「変更認定申請書」を提出
- ・ 2022年11月21日 「認定通知書」を受領

5. 契約に関する事項

- ・ 2022年4月15日 当法人が公益財団法人アサヒグループ学術振興財団を吸収する吸収合併契約書を締結。

6. 寄付に関する事項

寄付の目的	寄付者	申込金額	領収金額	受入年月日
財団運営資金	アサヒグループジャパン 株式会社	140,000,000 円	60,000,000 円	2022-04-28
			40,000,000 円	2022-07-01
			40,000,000 円	2022-08-31
2022年度寄付金総額		140,000,000 円	140,000,000 円	

7. 行政庁指示に関する事項

該当事項なし

8. 重要な後発事象

当法人は、2023年4月1日付にて、公益財団法人アサヒグループ学術振興財団を吸収合併した。合併契約の概要は以下の通りである。

合併期日 2023年4月1日

合併形式 当法人を吸収合併存続法人、公益財団法人アサヒグループ学術振興財団を吸収合併消滅法人とする吸収合併。

合併後の法人名 公益財団法人アサヒグループ財団

財産の引継 合併期日において、公益財団法人アサヒグループ学術振興財団の資産、負債及び権利義務の一切は、吸収合併存続法人である当法人が引き継いだ。

合併の理由 吸収合併により、両法人の経験や知見を活かして相乗効果を生み出していくことで「公益事業の一層の充実化」を図ることを目的とする。

9. その他重要事項

該当事項なし

附 属 明 細 書

2022年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないため、作成せず。

2023年6月

公益財団法人アサヒグループ財団

以上